

■カナダ：政府、COP22 でクリーン成長経済のための 21 世紀戦略を発表

カナダの環境・気候変動担当大臣は 2016 年 11 月 19 日、モロッコのマラケシュで開催された COP22 で、カナダの「21 世紀長期的低温室効果ガス開発戦略 (Mid-Century Long-Term Low-Greenhouse Gas Development Strategy)」を発表した。21 世紀半ばの達成を目指す同戦略は、温度上昇をパリ合意で言われている 1.5℃以内に留める努力を行いつつ、平均気温の上昇を 2℃以下に抑えるという国際的な目標に沿って、革新的かつ創造的な解決策を描いている。この戦略は、低炭素経済への転換を支援するため、インフラへの長期的な投資を必要とし、気候変動の目標達成と経済成長を可能にすることに重点を置いている。カナダ政府は、カナダが、純排出量を 2005 年の水準から 2050 年に少なくとも 80%削減する方策を検討したとしている。クリーンな電力を使用して、自動車、トラック、暖房システムなど現在化石燃料を使用している車両や電化製品に電力を供給することは、温室効果ガス排出量を削減する長期的な計画の重要な部分となり、低炭素または代替燃料、省エネ、森林の二酸化炭素吸収、二酸化炭素以外の排出ガスの削減も重要であるとしている。